

鳴子温泉郷（宮城県大崎市）の概要

○概要

鳴子温泉，東鳴子温泉，川渡温泉，中山平温泉，鬼首温泉の5つの温泉地の総称で，宮城県大崎市北西部の山形県と秋田県に接する山あい位置し，栗駒国立公園に含まれる。

○特徴

最も古い温泉では開湯千年の歴史を有し，全体では約370本の源泉数を誇り，揭示用泉質名の10種類のうち，二酸化炭素泉と放射能泉，含よう素泉以外の7種類が存在する。

松尾芭蕉の歩いた「おくのほそ道」でも知られ，芭蕉の句碑や尿前の関跡など史跡も多く，歴史を感じることができる。

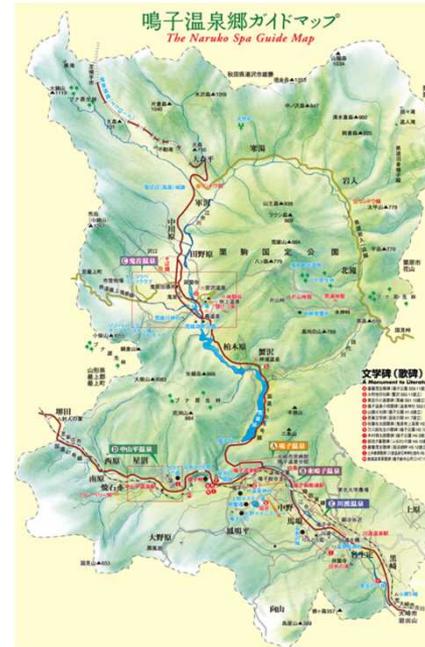
○温泉の状況

主な泉質：単純温泉，硫黄泉，炭酸水素塩泉，硫酸塩泉，塩化物泉 など

主な効用：きりきず，冷え症，筋肉痛，胃腸機能の低下など

○今後の方針

鳴子温泉郷として，更に温泉の公共的利用の増進を図るため，温泉の適正な利用を進めるとともに，自然景観と調和のとれた街並みの保全に努めながら，自然環境と温泉を生かした健康増進に寄与するプログラムなどを増やし，現代版の保養・休養地として，連泊・中長期滞在型の温泉地としての発展を目指していく。



鳴子こけし



東鳴子 湯沼



温泉地の様子